

関根先生へ

長い間ご無沙汰しておりますが、お元気でいらっしゃいますか。今、北九州はとても蒸し暑いです。モントレイの天気の方が好きです。

今、私は「日本文化1」の試験中です。先学期「日本事情」という授業でしたが、名前が変わりました。日本で過ごした1年間の後半の北九州市立大学での生活の報告をします。

まず、今学期のホームビジットの体験について書きます。先学期、オーストラリアから来た留学生と一緒にホームビジットをしましたが、彼女が帰国したので新しい台湾から来た留学生胃が私と同じのホームビジットの家族になりました。台湾人の留学生は英語あまり話さないで、ホームビジットの時に日本語ばかり話すようになりました。今学期もたこ焼きパーティーをしました。今回は七夕の時期なので、折り紙の星も作ったり、短冊も書いたりしました。日本人の家族の七夕が体験できました。とても楽しかったです。ホームビジットのお母さんと一緒にユダヤ料理教室に行きました。日本料理ではありませんでしたが、一緒に料理をするのは楽しかったです。アメリカにもユダヤ料理を作ったことがないので、面白い経験でした。ホームビジットを体験するチャンスがあつてよかったです。

次は「」の中で三つの楽しかった行事を説明して感想を書きます。日本文化1はとても楽しい授業でした。先学期とだいたい同じようなことをしましたが、新しいこともしました。例えば、「下関デートコース」という行事がありました。山崎先生は下関に連れて行って、色々な所を紹介してくれました。朝から午後遅くまで案内してくれました。私は一人で行きたくない所に行ったので、嬉しかったです。「竹の子掘り」という行事もありました。竹の子の掘り方を習って、1時間ぐらい竹の子を掘りました。私はローズというワシントン州から来た留学生と一緒に竹の子を掘って、二人で8個を集めました。後で、掘った竹の子を肉や野菜と一緒に焼いて、バーベキューをしました。残っていた竹の子を持って帰って、次の日にカレーに入れました。新鮮の竹の子を初めて味わいました。とても美味しかったです。掘った時にスニーカーが泥で汚れてしまいました。3つ目の楽しかった行事は北九州議会見学旅行です。私はアメリカで私の出身地の市役所に行ったことがありますが、日本で行くチャンスが意外でした。とても面白かったです。今学期も「日本文化1」の行事を十分に楽しみました。

私は国際教育交流センターの方に手伝ってもらったこともあります。特にアルバイトの探しと帰国の準備をよく手伝ってもらいました。センターで色々なアルバイトのフライヤーが貼ってあるので、英会話に関するアルバイトを簡単に見つけました。今学期センターで「イングリッスカフェ」というアルバイトをしました。色々な人を交流できて、英会話以外で会ったこともあります。楽しい経験でした。そして、帰国する前に色々なことを処理しなければならぬので大変ですが、センターの方が不動産さんやガス、水道などの会社と手配してくれました。私は日本にいる間に大変な目に遭わなかったので、センターの方の助けが必要は時はありませんでしたが、もしそのような時があつたら、センターの方はきっと助けてくれると思ったので、私は安心しました。本当に優しい人です。

私は北九州市立大学に留学して良かったです。今年は初めてCSUMBと交換したので、留学する前に北九大のことあまり知りませんでした。この1年間に住むことから北九州の生活がよく分かるようになりました。例えば、今学期のプレイスメントテストで私は高いレベルに合格して、飛び級してしまいました。私は高いレベルの授業で緊張しましたが、先生たちが私を応援してくれたので、私は安心して授業を変えませんでした。大変でしたが、たくさん勉強しました。英語の授業も受けました。その授業で留学生が少ないので、過半数は日本

人の学生でした。言葉が分からない時があったので翻訳したり、交流したりしました。日本人の学生と一緒に授業を受けるのは面白い経験でした。授業以外にもたくさん楽しめました。例えば、友達がたくさん出来ました。毎日授業で色々な国の友達に会えるのは本当に楽しかったです。おそらく一生にそのようなことは二度と経験できません。日本人の学生の友達も出来ました。私はサークルに入りませんでした。留学生会というサークルのイベントに参加しました。特に二次会のカラオケが好きでした。そして、思いもしませんでした。私より年をとった日本人の友達も出来ました。毎週の金曜日、学校の食堂でお茶を飲みながら話し合いました。時々学校の外に会って、バーベキューや日帰り旅行をしました。とても楽しかったです。

この日本で過ごした1年間はとても楽しかったです。1年は長いと思いましたが、実は短かったと感じました。まだ日本でやっていないことがたくさんあるので、将来戻りたいです。しかし、その前にCSUMBに帰って、留学したい学生に北九州市立大学のことを発表したいです。私は北九大が本当に好きだったので、来年も再来年もCSUMBの学生が北九大に行ってもいいです。

CSUMBの生活に戻るのは大変かもしれませんが、先生と再会を楽しみにしています。

ヘザー・オコネル